



2年生の研究授業が行われました

今年度最後となる校内授業研究会が行われました。今年は、教師の問い返しをどうすれば学びが深まっていくのかについて研究していますが、その有効性が随所に見られる授業でした。子ども達のがんばりを3つ紹介します。

① 友達同士の学び合いが自然とできている

これは学び合いには欠かせないことです。大切にしているというのは、何でも良しではありません。発表を聞きながら少し違うぞと思ったことには、意見を述べるができますし、良い考えと思ったら素直にそれを表現することもできています。学び合いの雰囲気がクラスにしっかり出来ていることが伝わってきました。

② 教師の話をよく聞き、よく反応している

教師の問いかけに子ども達がよく反応していました。「どうして三角形じゃないの?」「かどがまるい」「曲がつている」「かどが2こしかない」等、ロクにつぶやきます。まさに思考している姿がそこにはありました。たくさんの参観者がいることも忘れてしまうぐらいに、集中していた子ども達、さすがです!

③ 作業が一斉に進んでいる

低学年では、紙をノートに貼る作業一つにも時間がかかります。そのために、教師はできるだけ早くそろそろように声かけをしていきます。そのせいか、2年生の作業時間の差が小さいことに気づきました。これは、塵も積もれば山となるで、結果的に学習時間が増えることになります。ささっと動くところが気持ちよかったです。



挨拶運動第2期へバトンタッチ

11日昼休みに、第1期と第2期の引継ぎ式が行われました。やってよかったこと、嬉しかったことなどを1期の皆さんが話してくれました。2期のメンバーに引き継がれるか、これで終わるのかの分かれ目でしたが、こちらの心配をよそに、10名以上の応募がありました。今回まで、高学年のみに絞っていましたが、こうなると中学年の子ども達も次は自分達もという雰囲気になってきます。

この挨拶運動が行われる水曜の朝は、いつもより活気があります。声を出すということは、一日の学校生活のスイッチを自分で入れることになると思います。声量も4月に比べると随分出るようになりました。

目指すゴールは、「相手の目を見て いつも 先に 続けて」です。「先にする」ことがまだまだです。地域でも差があるようです。挨拶の習慣を身に付けるように、ご家庭でもお声掛けをお願いします。

東部教育事務所、神埼市教育委員会による学校訪問が行われました

10日に上記の訪問を受け、校長による学校経営説明、全教員による授業公開を行い、様々な点からご指導をいただきました。意見の中には、職員が一体となって教育活動に取り組んでいること、学力向上や生活習慣の徹底するための取組が一つずつ丁寧になされていること等、取組を評価してもらい強く感じました。

保護者の方や地域の方とのつながりについても輪が出来ているように感じられますとの言葉もいただき、残り4ヶ月で更にこの流れを加速していくべく、西部小職員一同の思いを強くした訪問となりました。

子ども達の頑張りに支えられました! たくさんの見知らぬ先生達に囲まれても、集中して学ぶ姿に安心しました。



家庭学習週間は**読書にも挑戦**しましょう

本校でも取り組んでいる陰山メソッドですが、提唱者である陰山英男先生の師匠である岸本裕史先生の大ベストセラー「見える学力、見えない学力」(1983年初版 現在263刷)には、このような文章があります。

「子どもの見えない**学力の核心は言語能力**です。その言語能力を育てるもっとも効果的な方法は、子どもを**読書好きに**することをおいて、他にはありません」と力説されています。これは今から40年近く前の本ですが、今なお通じる考えだと思います。様々な語彙の獲得のためには、たくさんの言葉に触れておくことが欠かせません。

学力向上は氷山の一角とよく言われますが、その下にある氷塊の部分に豊かな読書があることは多くの人が賛同するところでしょう。

小学校時代に、毎日本を読むことは、後々大きな力となる可能性を秘めています。読書の時間も家庭学習の時間として記録してあげてください。**土日の学習時間が少ないことが本校の課題**であることを、学力向上だよりでもお伝えしていますが、今回は伸びることを願っています。**家庭と学校、双方**で子ども達の力を伸ばしていきましょう。

再掲 11月2日「学力向上だより」

全国学力・学習状況調査の結果から家庭学習と家庭での生活習慣と成績の相関関係が明らかになりました。例えば、普段学校の授業以外でどの程度学習しているか(家庭学習の時間)の結果では、**1時間以上学習している子**とそうでない子では、正答率が、大きく違うことがわかりました。また、**土曜日、日曜日の学習時間の違いでは、その差がさらに顕著**に出ています。さらに、**家庭でのゲームの時間が長いほど学力が低い傾向にある**ことも明らかになっています。

このことから分かるように、子どもたちの学力は、学校での学習だけでなく、家庭での学習が大きく関わっていることが分かります。

本校の結果を見ると、家庭で1時間以上毎日学習している子どもの割合が、**全国よりも低くなっており、ゲーム等の時間が長くなっている**ことがわかりました。さらに、土曜日、日曜日の学習時間においては全国の割合よりもさらに低くなっています。家庭での学習の定着、ゲームやテレビの時間を短くする(決められた時間にする)等の対策を学校と家庭が協力して取り組んでいけるようにしていきたいものです。

西村様からいただきました

ドリームパークのお世話をされていますが、その際いろいろな物をいただいています。今回は、「ふきの花」と「鑑賞用のミニザクロ」をいただきました。また、先日、大澤様からは1年生に落花生をいただきました。

地域の皆様からのご厚意に感謝申し上げます。この場を借りて御礼申し上げます。

↓いつも楽しそうなドリバ



入賞おめでとう！！

★全日本ジュニア新体操選手権大会 団体3位入賞 5年 内川しりゅうさん

★学童美術展

県特選 1年 山邊ゆきの

県準特選 1年 末永このみ 3年 江口みり 千住かいり

5年 末次あかり 平松しえる

6年 酒見りこ

★吉田絃二郎作品展 16日～23日 神埼情報館にて展示されています。

感想文 優秀 5年 内田じゅり 佐野めいか

感想画 最優秀 6年 末次しゅんぴ

優秀 1年 百武りのん 2年 中村あやね 3年 牛島あやか

4年 福井しょうき 5年 内田さくや 6年 西村みおん

残菜チェック週間

給食委員会の皆さんが、毎日各学級の残菜を見て、残り0のクラスを発表してくれています。

それが励みになっていようで、今週は完食が多いですとの声が聞こえてきます。昨年に比べ、半分どころか3分の1、4分の1になる月もあります。食べる子ども達は、身体も心も育っていくように感じます。